

諸人のここに学びて―校長室から見える風景―(51)

今年も沖縄にて ―青春の4日間―

6月16日から19日まで2年次生の修学旅行を実施しました。行先は沖縄、修学旅行は生徒にとって最大の「非日常」です。不安がありつつも「とにかく楽しもう」としおりの巻頭言に記しました。「非日常」は学ぶことがたくさんあります。そして「日常」のありがたさを知る機会でもあります。

飛行機でまずは那覇空港へ。飛行機が初めての生徒もいましたがそれも修学旅行です。何でも学びです。この日は平和学習がメインでした。「ひめゆり平和祈念館」で、講話を聞き館内を見学しました。そのあとは、平和祈念公園で平和セレモニーを行いました。講話を聞く真剣な表情から、平和について、また今の生活のありがたさについて、それぞれに考える時間となったと思います。

次の日は民泊です。フェリーに乗り伊江島へ。民家さんと対面しそれぞれのお宅へ。三線や琉球舞踊を教えていただいたり、島内を案内いただいたりとそれぞれに過ごしました。

3日目は、朝民家さんとお別れして伊江島を後にしました。短い時間であったにも関わらずとても楽しい時間であったようです。フェリーから港で見送ってくれる民家さんが見えなくなるまで手を振って別れを惜しみました。そのあとは、美ら海水族館見学、選択別研修でマリンスポーツなどを体験というハードな日程です。しかし、この日はこれだけでは終わりません!!豊高修学旅行の伝統?イベント、「レク」が夜開催されました。クラスごとにさまざまな発表?をして学年(年次)が盛り上がる時間です。ダンスあり、ものまねあり、パフォーマンスありといつ練習していたんだろう??と思うくらいのクオリティです。見る側も一緒に楽しみ、拍手し、声を出します。思い切り楽しむ生徒たちに、若いエネルギーを感じちょっとうらやましく思っていました。

最終日は、那覇の国際通りの班別研修から帰路へ。無事に帰ってきました。

飛行機に乗るのも、バスの移動も、みんなていただく食事も、お土産を買うのも、修学旅行です。友人や先生とその時間を共有して楽しんだり、学んだり、喜んだりするのも修学旅行です。修学旅行団は「楽しんで元気で帰ってくる」という団の目標を達成し、団を解きましたが、この修学旅行がこの先も長く生徒の心に残り、「日常」である高校生活を豊かにしてくれるものになったのではないかと思います。大変おつかれさまでした。

修学旅行の実施にあたり、保護者のみなさま、関係のみなさまに大変お世話になりました。ありがとうございました。



伊江島の民家さんのお見送り、フェリーから



美ら海水族館



美ら海水族館より伊江島を臨む



沖縄を諸所に感じて